



## ■「おひさまフェス×星空上映会」開催報告■

2016年9月24日（土曜日）午後2時～7時、「おひさまフェス×星空上映会 in かわさき」を開催しました。

前日の天気予報では“曇り”だったので開催することを決めたのですが、当日のちょうど2時頃から雨が本降りになってしまいました。悪天候のなか最後まで参加していただいた皆様には心からお礼申し上げます。

朝8時半に集合し、開催を決めて出店者等に連絡、せせらぎ館下多摩川河川敷の水たまりを除去後、多摩川を背にステージトラックを止め、当NPO法人の第2号発電所から充電したEV車を止め、音響機器とそれをぐるりと囲むように30余のテントを設置しました。今年は専修大学のボランティアメンバーが設置から片づけまで担ってくれて10数人の若者たちからエネルギーと知恵をもらいました。



音楽ステージのリハーサルを待つ和太鼓仲間



### 『再生エネひろば』

「㈱太陽住建」、「川崎フューチャー・ネットワーク」、「ソーラーチーム、かわさき市民共同おひさまプロジェクト」、「パワーシフトキャンペーン」のブース前に、自転車発電、ソーラークッカー、太陽光パネルを展示



12時から音楽ステージのリハーサルを開始し、出店ブースの準備が整ったところから販売を始めました。BBQ、ベーグル、コーヒー、クッキー、じゃがバター、トルティーヤドッグ、地場野菜、ケバブ、地ビール、やきとり、モツ煮込、ちらし寿司、焼きそば、ポップコーンと美味しそうな飲食店が軒を連ね、早々に完売するお店もありました。

今年は4団体が協力して「再生可能エネルギー」のコーナーを充実させ、太陽光パネル展示やソーラークッキング、自転車発電などの体験をしてもらう予定が雨ざらしの展示となってしまう、とても残念でしたけれども、熱心に話を聞く姿が見られました。



地元の飲食店や地ビールも人気





「セカンドリーグ神奈川」  
福島からの木材でイス作り



「福島の子どもたちと  
もに、川崎市民の会」



「ビーオリブ」福島のお母さんたちが  
作製したLED ランタンを販売

また、福島を支援している数団体の出店、原発問題や差別問題について考える展示あり、本・雑貨・ランタンの販売、カイロプラクティック施術あり、多彩なお店が会場を盛り上げてくれました。中でも、こどもコーナーでは「竹細工」に挑戦する子どもたちの生き生きとした顔あり、「やろうよ！こどもぼうさい」の体験、被災地支援のための「マジカルポップン」のフェイスペインティングや、福島から運んできた木材を使ってのイス作りは子どもも大人も熱中して楽しんでいました。

そして、音楽ステージのメインゲストにシンガー・ソングライターの「きたがわてつ」さんをお招きできたことはとてもラッキーで、反戦・平和への思いを訴える曲と力強い歌声で会場を魅了してくれました。その前後には、脱送電線ライブからの2つのグループや、バンド、三線デュオ、ギターの弾き語り、トランペット演奏で盛り上がりました。雨のために出演を断念した「キューブキッズスポーツダンスチーム」、「和光中学吹奏楽部」、「宿原華匠舞太鼓と和太鼓仲間」の子どもたちの勇姿を披露できなかったことは非常に残念でしたが、100円券を使ってとても楽しかったとお聞きし、少しだけ安堵しました。



きたがわてつ さん



音楽ステージを盛り上げるファンキー楽団

さて、いよいよ夜の部の『星空上映会』は雨も止み、予定通り16ミリフィルムの映像を大画面で観ることが出来ました。「がんばれスイミー」に勇気もらい、「つるにのって、とも子の冒険」は子どもの目を通して原爆の悲惨さを痛感しました。また、当NPO 法人が制作したプロモーションビデオ「five years after 3.11」福島編・川崎編も素敵に仕上がっていました。

昨年12月から始動し、「市民がつくった電気でお祭り！？」「多摩川で地域がつながる、人がつながる」をテーマに様々な方面からサポートをいただいて創り上げてきました。ここにお名前を挙げられなかった団体・個人、開催に関わっていただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

副理事長 **加藤 伸子**（おひさまフェス実行委員/出店ブース担当）



## ■浜岡原発学習会(第2回)開催報告■

### ～浜岡原発の危険性を地元から訴える～

浜岡原発学習会第2回は「浜岡原発永久停止裁判・静岡県の会」事務局の落合勝二さんをお招きし、実際に携わっておられる浜岡原発の訴訟についてお話を伺いました。

#### ＜浜岡原発の現状と、立地状況＞

浜岡原子力発電所が建っているのは浜松駅前まで約 35km の海沿いの場所で、相模トラフと駿河トラフ、その先に南海トラフ、真ん中に中央構造線（その延長線上に伊方原発があり、リニアもそこを通る）と、危険域が多くあります。原子炉の1～5号機の間には H 断層と呼ばれる断層が何本も走っていて、その断層を避けるために、浜岡の原子炉は他の原発と違ってバラバラな向きに配置され、海寄りに原子炉、陸側にタービン建屋となっています。

5号機は 138 万 kW、日本でも最大ですが、東日本大震災の際に海水（潮水）が入ったため、錆が出ている可能性が高く、再稼働の際には問題になると考えられています。ちなみに当時、1、2号機は廃炉の手続きをしていたため、5号機の横に6号機を新設予定でした。その矢先に東日本大震災が起きたので、中部電力も今は新設とは言えずにいるとのことでした。

#### ＜裁判の争点、裁判で取り上げる危険度＞

東南海地震（M8～9程度）が 30 年以内に起こる確率は 70%。過去の地震では、火災、津波、土石流などで多くの方が亡くなっています。駿河湾の幅が約 50km で、そこに駿河トラフが走っており、プレートが下に潜っています。東日本大震災の時、福島第一原発の震度は6でしたが、浜岡の場合は直下のプレートが跳ね上がるので、さらに大きな影響が出る可能性があります。裁判では、地震の起こる可能性や危険度について争っています。

また、浜岡原発前には御前崎海脚という 100m 深度ほどの浅い海域が広がり、波が集中しやすいため、津波が巨大化しやすくなります。内閣府は 19m と予測していますが、中部電力が 2015 年 12 月に完成させた防潮堤は 22m。以前は原発前の砂丘が天然の防波堤になるので大丈夫と言っており、15m で建設する予定だったものを 18m に増やし、その 18m の上に 4m の鉄板を足して 22m にしました。

もしも防潮堤を津波が越え、取水塔が壊されれば、原発は冷やすことができず、冷却できなくなれば、重大事故が引き起こされます。中部電力も5分間程度は水が取れなくなる可能性がある、と認めています。5分で済むという保証はありません。

浜岡について争われている3つの裁判のどれでも、これらのことを追及中だそうです。

浜岡原発は川崎から約 174km の距離にあります。2011 年 5 月から、当時の菅首相による政府命令で原発自体の運転は止まっていますが、6,600 体の使用済み燃料棒が、現在も浜岡に保管されています。落合さんは、もしも浜岡原発が再稼働して事故が起これば、風向きからして風下の関東地方に放射性物質が流れていく可能性は高いので、ぜひ、神奈川・川崎でも声を上げてもらいたい、そうすることに意義がある、と語っておられました。

落合さん、遠方から本当にありがとうございました。



浜松から来ていただいた講師：落合勝二さん

副理事長 三枝 信子



## 電気の直売で地元資源の見える化

「一般社団法人 八王子協同エネルギー」 共同代表 田中 拓哉

八王子協同エネルギーは、八王子市内 3 か所に太陽光発電所を設置し、合計 60kW の売電事業を行っています。主に 1 号機のあるユギムラ牧場のエリアを拠点に、独立型電源の設置や、ものづくりワークショップ、里山資源のエネルギー利用などにも取り組んでいます。

### ●里山資源の継承

ユギムラ牧場は、かつてニュータウン開発の時代に、農業と都市の共存を目指す農民運動の拠点となりました。先人たちの根強い運動により残された自然環境は、若い農家や福祉団体が活動の基盤として継承しています。私たちも、そこで約 1200 坪の里山の保全を行っています。持続可能なバイオマス資源を得るために、20 年の周期で木を伐って育てます。得られる木材を器や家具に加工し、端材も薪や炭、チップを固めた燃料(ペレット)として最後まで活用します。これは生産と消費の接近を取り戻すための試みです。



里山体験活動の様子

### ●ご当地電気の直売所

農林業とエネルギー事業の戦略は似ています。生産と消費の接近は、生産物に付加価値をもたらし、地域のなかでコミュニティを形成します。現在、私たちはみんな電力(株)が提供する「顔の見える発電所」というシステムを活用しています。あくまで小売事業者を介した取引ではありますが、地元でつくった電気を地元で使う「直売」の仕組みです。

### ●地産地消の電源に対応していない託送料金

ところが、現状では、遠隔の大規模発電所を利用するために必要な送電システムを、低圧(一般家庭や小規模事業所)の電気料金で支える図式となっています。高圧や特別高圧(大規模事業所向け)の託送料金は、地産地消の電源を販売する場合にも課せられます。

### ●事業所に地産地消の電気を販売

低圧電力(エアコンやエレベーターなどの電源)は、節電するほど単価が上がります。このため、小規模な事業所には割高な電気料金が請求されています。この分野で新電力への切り替えを促進することで、託送料金も含めた、小規模や低圧の需要家に高額の電気料金を支払わせてきた旧来の価格体系が見直される可能性はあると思います。

#### 【編集後記】

8月・9月は雨にたたられ・・・週末に快晴になったのは8月6日から2ヵ月ぶりだったそうです。これからは好天に恵まれた爽やかな秋を堪能したいもの。季節の果物や野菜をおいしく食べたいし、行楽も楽しみたいので天候が荒れませんように！ (加藤伸子)

#### ■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090-7948-6189 (川岸)

でん太通信は毎月 15 日に波高しています。

